

- 1 日時 令和2年11月10日(火) 19:00~20:10
- 2 場所 愛媛県庁第一別館3階第3会議室
- 3 出席者 委員8名(1名代理)、地域医療構想アドバイザー1名
- 4 議事

(1) 地域医療構想の推進に係る国の動き等について

○資料1により、公立・公的病院の再編・統合等の再検証要請に係る国の動向や県内での議論の状況を説明するとともに、資料2により、国の新たな病床機能の再編支援について内容を説明。

○意見等

(村上座長)

- ・地域医療構想は着々と進んでいたが、新型コロナウイルス感染症という予見し難い大混乱にあたり、少し歩みを止めている状況。鳥取県の平井知事は地域医療構想に関して、コロナの問題が一定の方向性を示せるまでは凍結すべきとしている。一方で、地域医療構想の中に新興・再興感染症を含めてもう一回練り直すべきとの意見や、コロナとは関係なく人口減少問題は確実にやってくるので、コロナと地域医療構想は分けて考えるべきとの意見もある。
- ・愛媛県においては、地域でどれくらい必要とされているか、あるいは経営状況を鑑みて、それぞれの病院が自主的に判断するというやり方で進めてきているが、それもまたコロナで少し止まっていると感じる。
- ・病床の削減や統合に対するインセンティブ。先日、医師が不足し、人口減少も始まっている地域で、病院が統合によるダウンサイジングを決定したというニュースを見たが、こういったことが切実な地域では採用するのもありかと思う。

(2) 病床機能報告について

○資料3により、令和元年度病床機能報告(暫定版)の結果について説明するとともに、資料4により、平成30年度病床機能報告(確定版)を用いた定量的な基準による分析結果について説明。

○意見等

(村上座長)

- ・病床機能報告の精度を上げていかなければいけないという宿題と、病床機能報告の結果を回復期病床が足りていないこということに直結させてはいけないという重要なメッセージがあると思う。